

【今年度の重点目標】

しなやかでたくましく、他者とよりよくつながる伯太中生徒を育てる  
～学力向上と前向きな「あい」にあふれた集団づくりを通して～



学校 HP

【校訓】  
独立 協力 技術

# 青春の夢

R3. 7. 19 伯太中学校だより

(文責:校長 田中 修)

## 1学期が終了します

早いもので、明日 20 日 (火) に、1 学期の終業式を迎えます。

今月に入って、二度にわたる大雨被害に遭遇しました。洪水および土砂災害等により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

また直前には、新型コロナウイルス感染症のニュースが飛び込んできました。

\* \* \* \* \*

今年度も、感染症対策に十分配慮しながら教育活動を実施いたしました。保護者の皆様には、様々な面でご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、価値ある諸活動が展開できましたこと、感謝申し上げます。

感染症は、誰もが罹患する可能性があるものです。引き続き、誹謗・中傷や差別などが起きないように、冷静に対応してまいりましょう。

\* \* \* \* \*

## お世話になりました 地区懇談会

7 月 2 日 (金)、校区内 4 地区で懇談会を開催しましたところ、たくさんの皆様にご参加いただきました。1 学期の生徒の活躍、夏休みの生活について、PTA 会則の検討等のあと、学年懇談や全体会が行われました。司会進行をはじめ、ご出席の皆様、ありがとうございました。

その中で、次のような話をうかがうことができました。

- ① 子どもが、「なぜ叱られているのか、意味が分からない。」「授業が分からない」と言う。
- ② 子ども同士の、悪口の言い合いが気になる。いじめにつながらないか、心配になる。

★★★★☆☆★★★☆☆☆☆★★★☆☆☆☆

その声を聞き、かつての私の指導も丁寧さが不足していたのだろうか、と思い出され、反省をしつつ、すぐに教職員で情報共有しました。

生徒が、成長のために乗り越える山は、高すぎず、低すぎず。今後も、生徒にとってよりよい教育活動が展開できますように、保護者の皆様とともに考えたいと思います。

引き続き、ご意見をお寄せくださると喜びます。よろしく願います。

## 日常のひとこま

日々、当たり前だと思っていることが、実は、当たり前ではないのです。環境を整えてくれる教職員には感謝の気持ちいっぱいしております。



校舎内の消毒作業



校舎周辺の草刈り

伯太中の毎日は、教頭の窓開けから始まります。仙臺さんが HP 等の作成支援を、門脇さんは消毒作業等を、川口さんは特別支援教育を、と支援員さんが大活躍です。給食配膳員の梅瀬さんは、配膳室で黙々と 1 人仕事をしてくださいます。校務員や学校司書、主任、ALT、SC と、そして、花を届けてくださる方、部活動の指導をしてくださる方等々、本当に多くの皆さんによって、チーム伯太中は成り立っています。

## 弁論大会 (少年の主張) から

中学生が日常生活の中で感じたことや考えたことを広く社会に訴え、より深く他者や社会との関わりについて考えることができる、伝統ある取組です。保護者の皆様自身も、中学校時代に経験されたのではないのでしょうか。

本校生徒は6月中旬から弁論文を書き始め、学級弁論大会を経て、7月14日(水)に校内弁論大会を実施しました。



どの主張も、自分自身の経験やニュースから知り得た社会情勢等、様々な体験から気づきを得ていました。そして、真剣に向き合い、悩み、考え、思いを広げ、未来につながる、本当に感性豊かで素直な思いが詰まった内容でした。

最優秀賞になった山本さん、梅瀬さんの2名は、8月27日(金)に安来市立第一中学校で行われる、第69回少年の主張安来市大会に出場します。すばらしい主張を、より多くの人に心を込めて伝えてほしいと思います。

校内大会の演題のみ、紹介します。



- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1 未来のために    | 7 思い出のランドセル             |
| 2 あの一言で     | 8 自分らしさ                 |
| 3 差別のない世界   | 9 私の変化                  |
| 4 個性あふれる世界へ | 10 今の自分                 |
| 5 言葉の力      | 11 my world, your world |
| 6 『命を大切に』   |                         |

人種差別や LGBTQ、ジェンダーの問題、あるいは自分自身の課題や人間関係の大切さ等、大人の私たちがもっと考えなければならぬと気づかされました。

## 鳥根県中学校総合体育大会

### 吹奏楽コンクール鳥根県大会

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止されていた各大会が、今年度は夏休み期間中に実施され、本校からも生徒が出場します。

7月20日(火)は壮行式および壮行演奏会をする予定です。

男女バレーボール部、吹奏楽部、がんばれ!!

【県総体】 7月23日(金)~25日(日)

松江市総合体育館

【吹奏楽コンクール】8月7日(土)

出雲市民会館



※いずれも、参加・応援できるのは登録した限られた関係者のみです。ご了承ください。

## 精一杯!すてきな夏休みを!!

総体、コンクールに向けて「がんばれ」と先ほど書きました。そして、思い出しました。

校内弁論大会で、相手の気持ちに寄り添っていたら、「頑張れ」という言葉は簡単に使えないのではないか、との主張です。

私も、以前からそのように考えていました。「頑張る」の語源は、「眼張る」とか「我を張る」、あるいは「歯を食いしばる様子」だと言われていたからです。そこで私は、「精一杯やろう」という言葉をよく使っていました。「精(魂)を込めて、出し切ろう」という思いでした。

ところが最近、ある人から「がんばれ」は、「顔晴れ」・・・自分の顔が晴れ晴れできる生き方「願生れ」・・・「こうなりたい」との願いをもった生き方と考えているよ、と紹介されました。なるほど、前向きに物事をとらえるのは大切なことですし、積極的に行動する力が湧いてくるな、と思いを直しました。

夏休み。自身の成長のために、「安全・安心・そして安定感のある、明るい生活」を自分でつくり、精一杯のすてきな夏休みにしてください。2学期。すてきな笑顔で登校してくる皆さんを待っています。